

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news

 新年を迎えて

“愛”は“笑い”

外来のお母さんが教えてくれた話です。

A君は、2歳になっても言葉が出ずに、病院に行きました。

病院で、医師から、A君は自閉症であると告げられました。

お母さんは、目の前が真っ暗になり、医師の前で泣き崩れました。

この世から消えてしまいたい。

この子と一緒に死んでしまいたい。

そんな思いが、頭をよぎり、外来でひたすら泣きました。

どれくらいたったのでしょうか。

その医師は、

「お母さん、今は響かないかもしれないけど、自閉症の子の家族って、その子を中心にほのほのとしていい雰囲気なんだよね。」

とだけ、言いました。

医師は、話すタイミングを探し、ずっと待っていてくれたのでしょ。

お母さんは、その言葉を聞き、死ぬのを踏みとどまりました。

私たちのところには、さまざまな子どもと家族がやってきます。

いつも笑顔で、明るい家族も多く訪れます。

でも、障害があることを伝えられたときは、みんな落ち込みます。

不安という闇の中で、将来が見えなくなってしまいます。

不安を減らし、闇の中から光を見出すように、共に歩いていくことが、我々に求められます。

その闇を抜けたとき、人は強くなり、笑うのです。

A君は、今は高校生。

今も言葉は出ないけど、いつもニコニコしています。

「今でも、あの言葉を思い出すんです。」

というお母さんの隣で、A君は笑っていました。

“愛”は“笑い”

【所長 小沢 浩】

からふる報告

新型コロナウイルスの感染が落ち着き、規制・制限の緩和の方針となったため、当センターの講習会も3年ぶりにオンラインから対面で講習会を開催いたしました。

2023年9月～12月にかけてPT主催「やってみよう！おうちでできるからだのほぐしかた」、OT主催「DCD 発達性協調運動障害 不器用さがある子の理解と支援」、公認心理師主催「WISC-V 知能検査の見方について」、ST主催「ことばの発達からみる子どもへの支援」の講座を幼稚園教諭、保育士、療育関係者、保護者、小学校教諭の方々を対象に実施しました。

対面での講習会のため、実際に実技を体験したり質疑応答の中で他の参加者の方々と気軽に情報交換をすることができ、参加された先生方、保護者の方々からは「より勉強になった」、「日々の保育、生活に生かしていきたい」というお声をいただきました。

【リハビリテーション科 作業療法士 塩澤 悦子】

学会報告

2023年10月27～28日に幕張メッセ（千葉）で開催された

「第48回日本重症心身障害学会学術集会」に参加しました。

本学術集会の大会長（石井光子先生：千葉県千葉リハビリテーションセンター）よりリハビリテーション職によるシンポジウム企画の依頼があり

開催1年前から他の評議員メンバーと共に企画しました。

テーマを「6F-Wordsと重症心身障害児者 ～Friends and Future～」とし

四天王寺和らぎ苑の榎勢道彦さんと共同座長として開催しました。

座長講演としてシンポジウムのキーワードとなる「F-Words」について私がお話した後、4名のシンポジスト（理学療法士2名・作業療法士・特別支援学校教諭）にお話していただきました。

「F-Words」は障がいのある子どもたちの世界が「制限」だけでなく、「可能性」に満ちあふれていると誰もが考えられるようになるための考え方となります。

本学会は重症心身障害児者に関わる多くの職種が参加可能な学会です。

当日、会場にも多くの方々が来場され、「F-Words」の大切さをシンポジスト共に共同座長としてお伝えでき、とても嬉しく思うと共に多くの方に広がっていくことを願っています。

当センターの初代園長の小林提樹が初代会長として発足した

日本重症心身障害学会の評議員として参加し

そして学会として初めてとなるリハビリテーション職のシンポジウムの

企画、運営に携わることができたことは

小林提樹の座右の銘である

「この子は私である。あの子ども私である。どんなに障害が重くともみんなその福祉を守ってあげなければと深く心に誓う。」に微力ではありますが、貢献できたのではないかと考えています。

これからも先人の想いに応えられるように

多くの仲間と共に様々なことを取り組んでいきたいと思っております。

【リハビリテーション科 理学療法士 黒川 洋明】



通 所

動物園外出

コロナ禍で実施することができなかった外出活動ですが、今年度からついに解禁されました。利用者様の希望を募り、ヒノトントンZOO（羽村市動物公園）にくり出しました。秋風が爽やかな外出日和で、久しぶりの外出を多くの利用者様が楽しめました。キリンやしまうまがいるサバンナ園では柵を挟んで目と鼻の先までシマウマがやってきてくれたり、キリンのエサやりの時間では大迫力の食事シーンをみんなで見たりすることができました。思い思いに過ごす動物たちの姿に、童心に帰るようなひと時を味わいました。

【通所科 児玉 裕】



新潟交流会

12月8日、新潟県にある三条市立旭小学校の皆さんと交流会を行いました。

まずは交流前に稲刈り体験を行いました。旭小学校の皆さんの行っている稲刈りの様子を映像で見て学び、その後実際に利用者の皆さんも体験しました。旭小学校から本物の稲穂も送っていただき、実際に触れ、香りや感触を知って楽しんでいきました。不思議な感覚に少し困惑した表情の方がいたり、笑顔を浮かべる方がいたり、利用者の皆さんの様々な表情が見受けられました。

その後はZOOMにて交流を行いました。画面を見て、お相手の声を聞いて、微笑む利用者の皆さんの姿が非常に印象的でした。

交流のお礼に手作りのしおりをプレゼントし、旭小学校の皆さんからもサプライズでお米のプレゼントもいただきました。

後日旭小学校からも楽しかったとのご連絡をいただき、お互いが楽しく貴重な時間を過ごせた会となりました。

【通所科 浅野 佳奈】



イルミネーション外出

12月はパルテノン多摩までイルミネーション外出に行きました。普段とは違う夜の外出に利用者様もとてもワクワクされた表情で参加されていました。大通りには色とりどりのイルミネーションがずらりと並び写真を撮る手が止まらない程に綺麗な景色が広がっていました。今回行った3名の利用者様も集合して写真を撮り皆様の笑顔でイルミネーションを満喫されていました。

【通所科 小山 峻介】



餅つき交流会

12月27日に野球チームのアストロジャガーズと八王子実践高校野球部のみなさんと餅つき交流会を行いました。久しぶりの交流お餅つき会ということで、お餅つきのやり方をみんなで思い出しながら最初はたどたどしく取り組んでいましたが、徐々にペースを掴み、またアストロジャガーズと八王子実践高校のみなさんの力強い餅つきのおかげで、立派なお餅が出来上がりました。久しぶりの対面での交流お餅つきをみんなで楽しみました。

【通所科 一条 昌宏】



ベトナム研修報告

7月30日～8月6日にかけて、SVCA（ベトナムの子ども達を支援する会）ベトナム交流ツアーに参加させていただきました。初めてのベトナムに緊張しながらも、現地の方々、SVCAの方々に暖かく迎えていただき、楽しく1週間を過ごすことができました。

研修では、省立病院でのケーススタディや講習会、群病院への訪問、情報ハンドブック改定の話し合いなどに参加しました。ツアーには様々な職種・経歴の方が参加されており、それぞれのできる形で同じ目標に



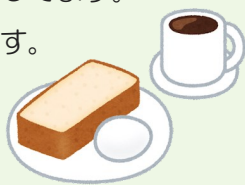
向かって活動をしていることを強く感じ、自分にできることは何かを改めて考えるきっかけとなりました。また、文化や環境の違いがある中で、人と人とのつながりの大切さを実感させていただきました。

【通所科 永妻 萌】



ほっといき

喫茶店のモーニングが好きです。
 休みの朝、少し早起きをして家を出ます。
 散歩がてらにちょっと歩いて、開店頃に着きます。
 時には電車で一駅隣へ行きます。
 暖まりたい時はホット珈琲、涼みたい時はアイス珈琲。時にはクリームソーダなどなど。
 数年前から珈琲を飲み始めたのですが、最近味の違いや自分の好みに気づき始めました。
 前の日の夜、又はその日の朝、お腹と相談しながら行きたい店を考えます。
 バタートースト、茹で卵、チーズトースト、フルーツサンド、クラムチャウダー、ミネストローネ、、、
 昼間や夜とは異なる雰囲気店内。
 頼んだ品が届くまでぼんやりしてます。
 食べ終わった頃にはほっこりしてます。
 喫茶店のモーニングが好きです。



【リハビリテーション科 作業療法士 多辺田 俊平】

おしらせ

information

「輪を和でつなく」
 著者：小沢浩
 発行所：クリエイツかもがわ
 価格：2000円（税別）
 発売中です



島田療育センターはちおうじ 小児診療



- ・各種 予防接種を行っています。予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ・発熱など風邪症状のある方は、ご来院前にお電話でお問い合わせください。感染症対策のため、ご協力よろしくをお願いいたします。

診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予... 予防接種 乳... 乳児健診
 *土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

